

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

【参考事例】

計画策定日：平成 年 月 日

最終更新日：平成 年 月 日

北関東しんきん健康保険組合

* データヘルス計画書（健保組合共通様式）【参考事例】は、健康保険組合の皆様にはデータヘルス計画の策定における手順を具体的にイメージしてもらい、計画策定を円滑に進めていただくためのものです。これらの計画書を参考にする際には、以下の点についてご注意ください。

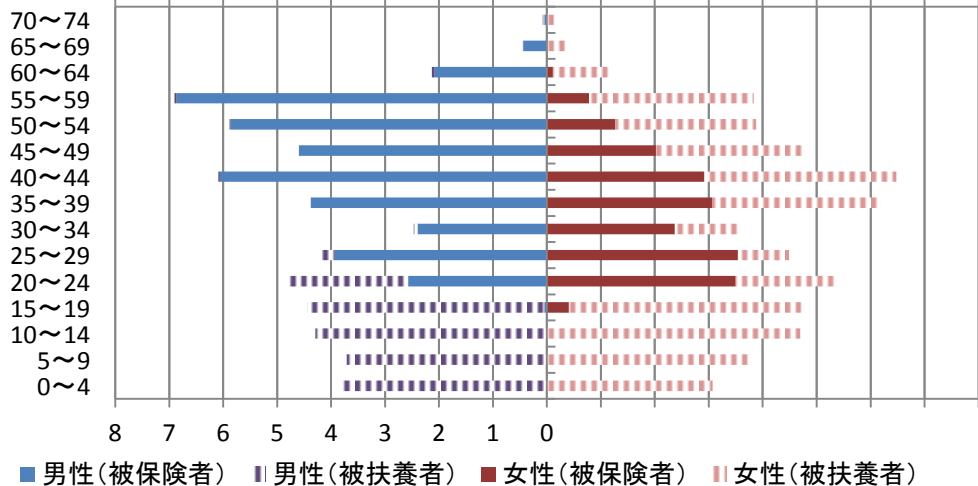
- (1) 事例は、それぞれの健康保険組合の形態や規模、加入者の属性のみでなく、これまで実施してきた取組等を踏まえて作成されていることから、特定の事例の記載内容を一律に模倣するのではなく、各健康保険組合の実情に応じた独自のデータヘルス計画を策定すること
- (2) 計画の策定に係る基本的な考え方についての理解を深めるために、「データヘルス計画の作成の手引き」等についても併せて参考にする
- (3) 事例はすべての健康保険組合に先行して作成しているため、項目の記載時点は、入力用ツールに記載されている時点とは異なる場合があるが、計画書に記載すべき各記載項目の時点については、「データヘルス計画書（健保組合共通様式）」に関する記載要領等に則って入力すること
- (4) 成果（アウトカム）目標および事業量（アウトプット）目標ならびに事業目的の設定については、事例を参考としながら可能な限り自組合で評価可能な客観的な指標を用いること

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合コード	42235		
組合名称	北関東しんきん健康保険組合		
形態	総合		
被保険者数（平成27年度予算 注） * 特例退職被保険者を除く。	5,928名 男性66.3%（平均年齢45.1歳）* 女性33.7%（平均年齢36.3歳）*		
特例退職被保険者数	0名		
加入者数（平成27年度予算 注）	11,544名		
適用事業所数	22ヵ所		
対象となる拠点数	386ヵ所		
保険料率（平成27年度 注）*調整を含む。	100.0%		
	全体	被保険者	被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	77.6%	91.0%	45.9%
特定保健指導実施率（平成25年度）	6.3%	6.3%	0.0%

(百人)



(注) 記載要領参照

- ・総合型健保組合であり、加入者は、男女比率で2：1と男性の割合が多い。
- ・被保険者年齢は男性で40歳以上の割合が多く、女性は20歳から45歳まで人数にあまり差がない。
- ・当健保組合には、医療専門職が不在。
- ・保健事業費の占める割合が全国平均よりも低い。

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 (平成27年3月末見込み)	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	0
事業主	産業医	0	17
	保健師等	0	0

		予算額（千円） (平成27年度 注)	被保険者一人当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	61,470	10,369
	特定保健指導事業費	2,670	450
	保健指導宣伝費	8,240	1,390
	疾病予防費	1,340	226
	体育奨励費	1,000	169
	直営保養所費		0
	その他		0
	小計 …a	74,720	12,605
	経常支出合計（千円） …b	2,845,841	
	a/b×100（%）	2.63	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組															
予算 科目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者						事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				資格	対象 事業所	性別	年齢				対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康 診査事業	1	特定健診（被保険者）	【目的】特定健康診査の実施率を高める 【概要】人間ドック費用助成、事業主が行う定期健診の結果を受領する	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	54,375	【H25年度】実施率 91% 対象者 3475人 実施者 3161人	・各事業所より法定健診の結果を受領しているため、被保険者の受診率が高い	・実施率100%にするべく受診していない方への受診勧奨等の対策	3
	1	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健康診査の実施率を高める 【概要】人間ドック費用助成、受診券を配付しての集団、個別健診の実施	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	7,095	【H25年度】実施率 46% 対象者 1468人 実施者 674人		・対象者の健診に対する理解不足 ・未受診者への受診勧奨不足	2
特定保健 指導事業	3	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドローム該当者の減少 【概要】メタボリックシンドローム該当者、予備軍へ委託業者による保健指導または集団契約機関の保健指導の実施	被保険者	全て	男女	40	～	60	基準 該当者	2,670	【H25年度】 動機付け支援 対象者266名 実施者4名 実施率1.5%（集団契約） 積極的支援 対象者468名 実施者42名 実施率9.0%（集団契約 6名 個別契約 36名） 保健指導計 対象者734名 実施者46名 実施率6.3%	・実施率向上のため委託業者（個別契約）による保健指導を実施したところ、健保にて抽出した対象者すべての方に対して実施	・集団契約の利用券を使用した保健指導の実施率は低迷 ・対象者の保健指導の必要性の低意識 ・事業主への協力依頼不足	2
保健指	4	機関誌発行	【目的】健康情報、法律改正等の周知 【概要】被保険者全員へ機関誌の配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	300	【H25年度】 機関誌発行 年4回 現役職員：事業所経由の配付 任意継続者：自宅直送	・読みやすい誌面を目指して、文字数を極力少なくし、当健保のオリジナルキャラクター「けんぼ君」を多用	・被保険者の既読率や理解度等を知る手立て模索中	4
	7	メンタルヘルス助成	【目的】メンタルヘルス患者の減少 【概要】事業所実施メンタルヘルス事業への助成	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	500	【H25年度】 申請のあった2事業所に助成		・メンタルヘルス事業の実施（申請）が少ない ・当該疾病の重要性周知不足	3
	7	医療費通知	【目的】医療費の不正請求等の抑制 【概要】医療費通知を組合員へ配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	300	【H25年度】 年4回実施(20,627件)	・通知の余白部分にジェネリック医薬品の使用促進のメッセージを印刷		3
	7	ジェネリック医薬品使用促進	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進 【概要】ジェネリックに変更することにより300円以上医療費削減効果が見込める対象者へ差額通知の配付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	基準 該当者	1,000	【H25年度】 年2回 合計通知者2,117名	・通知文書のわかりやすさを強調	・ジェネリックへの抵抗ある人への対応	3

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

導 宣 伝	7	柔道整復療養費 の適正化	【目的】療養費支給基準に則った施術の周知 【概要】慢性病等の疑いがある対象者へ負傷原因・施術内容の照会	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	基準 該当 者	0	【H25年度】 対象者172名に周知と照会	・照会文書に健康保険の使える範 囲を説明したリーフレットを同封する ことにより、接骨院のかかり方を周知	・部位をかえ、長期にわたり施術を 受ける人への対応	4
	6	前期高齢者医療 費対策	【目的】前期高齢者納付金対策と対象者の健康の保持増進 【概要】前期高齢者へ訪問健康相談	被保険者 被扶養者	全て	男女	63	～	74	全員	1,500	【H25年度】 対象者92名に対し、実施者46 名。夏期と冬期の2回にわたり、の べ68回の訪問健康相談を実施	・医療費の分析により、未訪問群と 比較し、訪問群は医療費の削減効 果があったことを確認	・自宅への訪問相談を拒否する人 への対応 ・訪問健康相談の必要性の低意 識	3
	4	小冊子・記念品配 付（新規加入 者）	【目的】健康意識と社会保険の知識の向上 【概要】新規加入者へ小冊子と記念品（ハミガ キセット）配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	460	【平成26年度】 小冊子300部 記念品220 セット			3
	7	健康者表彰	【目的】健康者を表彰 【概要】年間無受診世帯へ記念品を配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	基準 該当 者	750	【平成26年度】 227世帯を表彰			3
疾 病 予 防	1	35歳節目人間 ドック	【目的】35歳節目に人間ドックの受診率を高める 【概要】35歳節目に人間ドックの受診助成	被保険者	全て	男女	35	～	35	全員	1,200	【H25年度】実施者96名			3
体 育 奨 励	4	ウォーキング奨励 「健康プログラム」	【目的】健康意識の向上と健康習慣の構築 【概要】紙上ウォーキングを中心とした3ヶ月間の ポイント制を導入したプログラムの実施。運動習 慣や適切な食事習慣の推進	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1,000	【H25年度】 記録用紙提出者 324名	・平成25年度からの新しい事業で あり、紙上ウォーキングのほかにも、 風邪予防チャレンジ・お昼のハミガキ チャレンジも加え、楽しみながら参加 できるように工夫	・実施前には800名を超える参加 申込みがあったが、実際にプログラ ムを最後まで続けられた方は40% 程度になってしまった ・参加者のモチベーションを持続させ る工夫必要	4
直 営 所 保 養															
他 そ の															
（予 算 措 置 な ）															

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

事業主の取組									
事業名	事業の目的および概要	対象者					振り返り		
		資格	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	共同実施
新入職員研修	心身の健康に関する自己管理意識の向上を目的とした研修の実施	被保険者	男女	18	～ 25				無
メンタルヘルスセミナー	管理職者に対するメンタルヘルスの理解を目的としたセミナーの開催	被保険者	男女	18	～ (上限なし)				無
定期健康診断	法定健康診断実施	被保険者	男女	18	～ (上限なし)				無
カウンセリング	メンタルヘルスの予防に向けたカウンセリングの実施	被保険者	男女	18	～ (上限なし)				無

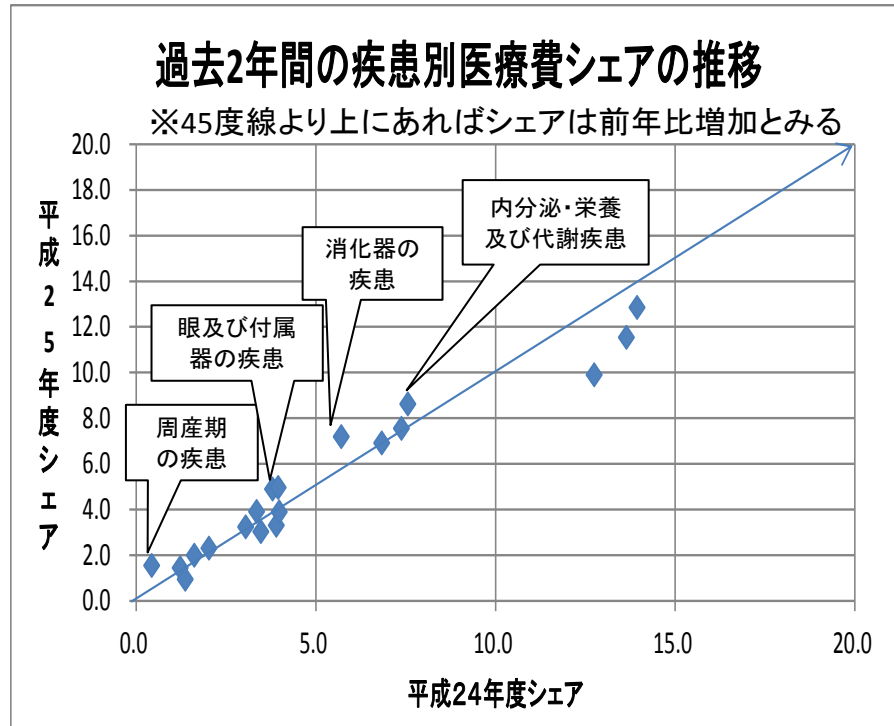
注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

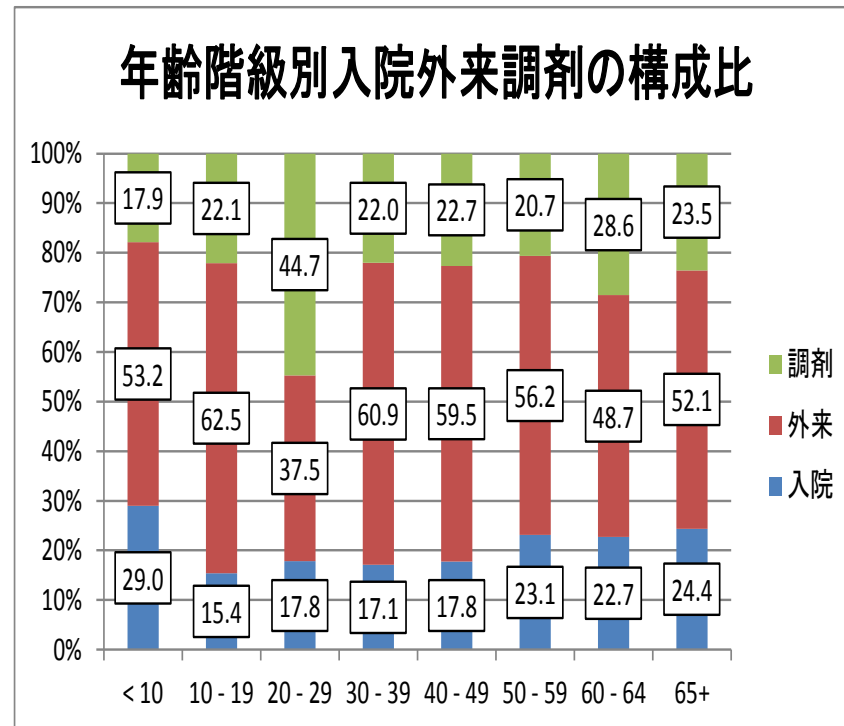
- ・特定保健指導の実施率が低く、今後委託業者への参加者を増やすべく事業主との連携を強めていく。
- ・総合型健保組合であるため、まずは先行事業所において成功事例を作り、その後に段階的に広める方法を検討。

STEP 1 - 3 (基本分析で現状を把握する ①レセプト分析の概要)

疾患別合計医療費シェアの変化



年代別医療費の構造変化



- 平成25年度の医療費をみると、合計医療費の1位は呼吸器疾患、2位は循環器疾患、同様に、入院では悪性新生物、循環器疾患、外来では呼吸器疾患、内分泌疾患等となる。
- 前年比シェアで見ると、1.0%以上シェア伸びた疾患は、内分泌、眼、消化器、周産期である。
- 各医療費の構成割合をみると、50歳以上で入院医療費の割合が各年代の医療費の2割を越える。
- 特に、65歳以上の医療費は他の年代に比べて高くなる。その原因としては、疾患の重症化にともなう入院日数及び外来日数の増加が考えられる。

STEP 1 - 4 (基本分析で現状を把握する ①レセプト分析の概要)

【高血圧症の医療費及び患者推移】

ICD3桁名称	医療費				人数		
	年度				年度		
	H23	H24	H25	伸び率(%)	H23	H24	H25
高血圧性心疾患	28,460	266,290	188,900	-29.1	2	6	3
二次性(続発性)高血圧(症)	249,820	390,260	258,730	-33.7	1	2	1
本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	43,161,550	49,364,410	49,742,740	0.8	612	698	691
合計	43,439,830	50,020,960	50,190,370	0.3	615	706	695

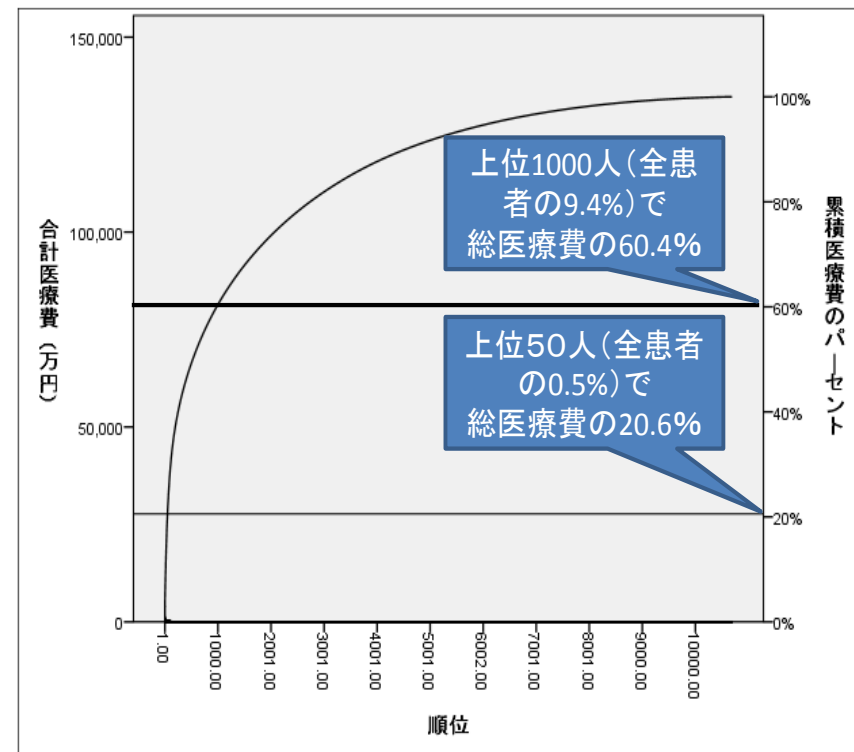
【脂質異常症の医療費及び患者推移】

ICD3桁名称	医療費				人数		
	年度				年度		
	H23	H24	H25	伸び率(%)	H23	H24	H25
リポたんぱく蛋白代謝障害及びその他の脂(質)血症	12,589,570	17,145,230	16,456,130	-4.0	305	356	342

【糖尿病の医療費及び患者推移】

ICD3桁名称	医療費				人数		
	年度				年度		
	H23	H24	H25	伸び率(%)	H23	H24	H25
インスリン非依存性糖尿病(NIDDM)	3,957,980	4,391,740	6,258,540	42.5	48	48	59
詳細不明の糖尿病	23,890,190	27,714,870	27,505,380	-0.8	221	208	184
合計	27,848,170	32,106,610	33,763,920	5.2	269	256	243

【患者の重症化による医療費の増加】

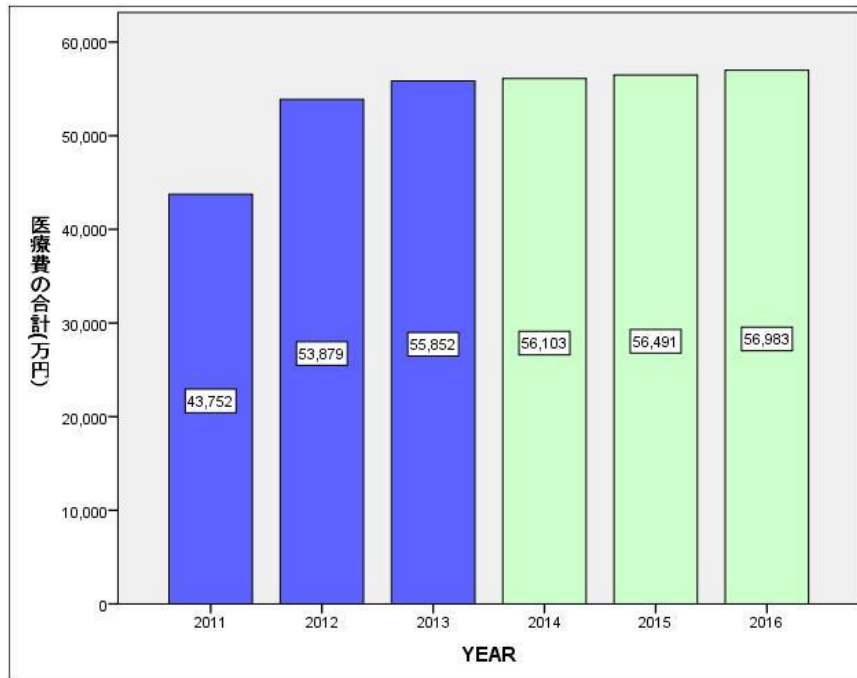


- 高血圧症の医療費は前年に比べて0.3%上昇しているが、患者数は前に比べて1.6%減少している。脂質異常症の医療費は前年に比べて4%減少し、患者数も前年に比べて3.9%減少している。糖尿病の医療費は前年に比べて5.2%上昇しているが、患者数は前年に比べて5.1%減少している。高血圧症、糖尿病において一人当たり医療費が上昇しており重症化が考えられる。
- パレート図でみると医療費上位50名（全患者数の0.5%）で総合計医療費の20.6%を占めている。
- この50名の中で透析患者が14名おり、総医療費に占める割合は6%となる。

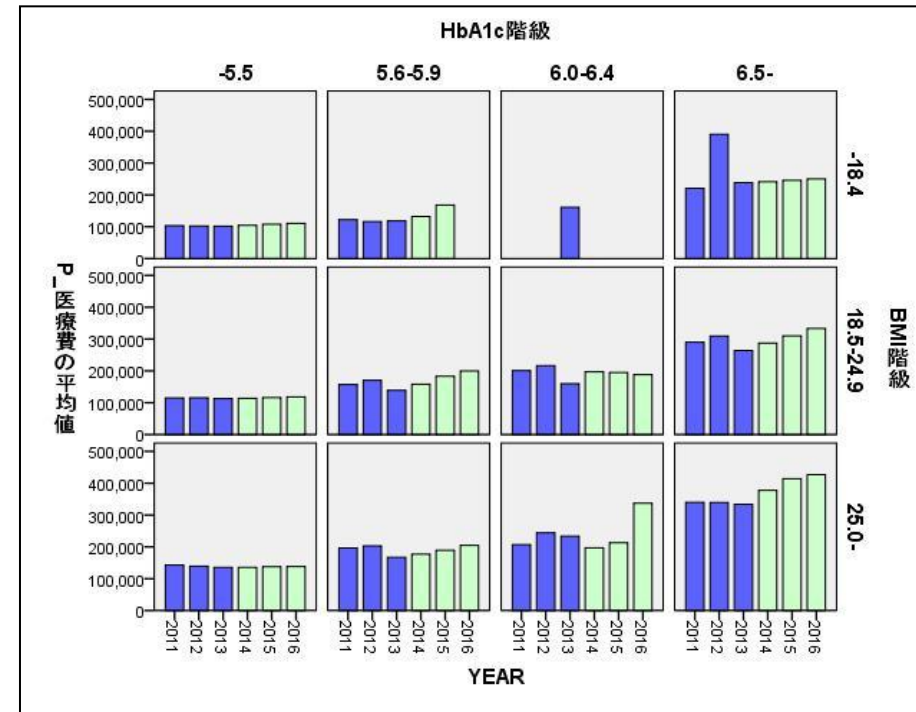
STEP 1 - 5 (基本分析で現状を把握する ②健診分析の概要)

将来医療費の予測

青が実績、緑が予測



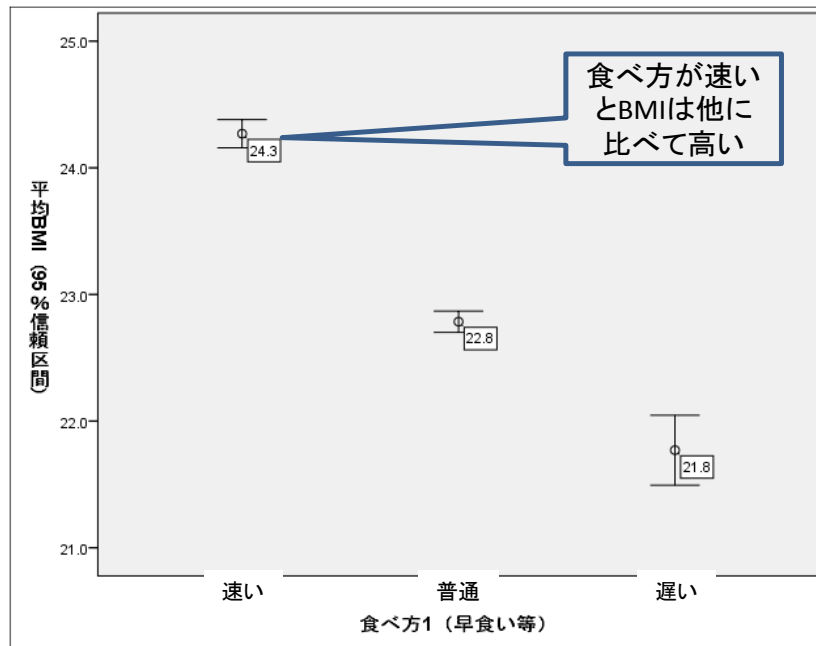
肥満、HbA1c別による将来医療費の変化



- 医療費は2013年以降緩やかに増加する。
- 将来医療費に影響する要因（健診項目）として、肥満、HbA1c、血圧があげられる。
- リスク別に将来医療費を分析すると、肥満かつHbA1c6.5以上の場合、一人あたりの将来平均医療費は3年後に40万円をこえる。

STEP 1 - 6 (基本分析で現状を把握する ②健診分析の概要)

食べ方の速さの違いによるBMIの変化



HbA1c 6.5以上の治療・未治療別の改善意思

糖尿病治療の有無と生活習慣の改善意思のクロス表

			生活習慣の改善意思					合計
			改善しない	改善するつもり	近いうち	既改善(6ヶ月未満)	既改善(6ヶ月以上)	
糖尿病治療の有無	未治療	人数	10	25	12	7	7	61
		%	16.4%	41.0%	19.7%	11.5%	11.5%	100.0%
	治療中	人数	14	60	36	24	35	169
		%	8.3%	35.5%	21.3%	14.2%	20.7%	100.0%
合計		人数	24	85	48	31	42	230
		%	10.4%	37.0%	20.9%	13.5%	18.3%	100.0%

- 医療費において、肥満は非肥満に比べて高くなる。
- その原因を健診の問診結果から調査すると、食べ方の速さがBMIに大きく影響するが事が判明した。その他、就寝前の食事でもBMIに大きく寄与する。
- 次に、HbA1c6.5以上の方について、治療・未治療別に生活改善の意思についてみると、治療者の65%、未治療者の77%は改善に取り組んでいない。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

対策の方向性

肥満対策	・将来医療費予測から医療費が顕著に増加する対象者として肥満者（BMI25以上）があげられた。 ・肥満の状況を見ると40歳代から増加し50歳代まで肥満者割合が固定、大きくなっている。 ・40歳代から増加する主たる要因としては、30歳代の食習慣の乱れ、特に「食べるのが早い」「夕食が遅い」の影響が大きいことが確認された。	・ポピュレーションアプローチとして、若年者を含む食生活改善キャンペーンを展開。参加者を拡大するために健康ポイント等のインセンティブを取り入れる。 ・40歳以降の肥満者については、特定保健指導の実施を強化することで肥満対策を推進していきたい。
糖尿病対策	・将来医療費予測から医療費が顕著に増加する対象者として高血糖（HbA1c6.5以上）があげられた。 ・人工透析の医療費インパクトも大きく、当組合の医療費増加の大きな要因となっている。 ・糖尿病の罹患者は50歳代で大幅に増加。 ・HbA1c6.5以上260人のうち69人が未治療。（8.0以上では48人中9人が未治療） ・HbA1c6.5以上のうち治療者の65%、未治療者の77%が生活改善に取り組んでいない。	・糖尿病重症化に関する問題点は、人工透析に至る重症化の防止だけでなく、「未治療」及び治療中でも検査数値が下がらない「治療中コントロール不良」があげられる。 ・このことをふまえ、糖尿病の発症・重症化対策として、未治療者に対する受診勧奨、糖尿病の重症化・透析移行防止を柱とした対策を推進していきたい。
高血圧症対策	・40歳代から高血圧症等が増加し、60歳以降で合併症へ重症化している傾向がみられる。 ・収縮期血圧140以上もしくは拡張期血圧90以上が859人（健診受診者の21.6%）、うち524人が未治療。（収縮期血圧180以上では35人中21人が未治療） ・収縮期血圧140以上もしくは拡張期血圧90以上のうち治療者の73%、未治療者の76%は生活改善に取り組んでいない。 ・高血圧症罹患者は非肥満でも見られ、弁膜症等重篤な心臓疾患も考えられる。	・高血圧等が動脈硬化を促進し、脳血管疾患・心疾患等へ重症化することを防止するために、高血圧等の「未治療」「治療中コントロール不良」を主なターゲットとする。 ・具体的には、糖尿病対策と同様に未治療者に対する受診勧奨、高血圧症の重症化・透析移行防止を柱とした対策を推進していきたい。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

適切な受診行動の促進

・血圧降下剤、高脂血症用剤、糖尿病用剤等定期的な服薬治療が必要でありながらレセプトが存在しない服薬中断と思われる対象者が数人みられた。
・同一医療機関を月10日以上受診者（6か月以上継続）が18人、夜間休日診療が年間12日以上が53人見られた。

・治療中断と思われる対象者に再受診の受診勧奨を行う。
・前期高齢者を中心に適切な受診を促進するとともに、ジェネリック医薬品差額通知等の利用促進を進める。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

特徴	対策検討時に留意すべき点
基本情報 ・総合型健保組合である。 ・加入者は、男女比率で2：1と男性の割合が多い。 ・被保険者年齢は男性で40歳以上の割合が多い。	・総合組合であり、事業の参加や意識づけには事業主の協働（コラボヘルス）が重要である。事業主へコラボヘルスや健康経営の重要性を訴え、まずは成功事例づくりから開始。
保健事業の実施状況 ・特定保健指導の実施率が低い。 ・糖尿病・高血圧症の発症・重症化予防の重要性。 ・被扶養者の特定健診の受診率を上げたい。	・将来の医療費を考え、特定保健指導の強化。 ・糖尿病・高血圧症の発症・重症化予防事業の実施。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類		事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施 主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）		
					資格	対象 事業所	性別	年齢			対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム
職場環境の整備																
保健指導 宣伝	7	既存	職場環境の整備	【目的】従業員の健康状況の特徴を事業所へ報告、必要な健康対策への協力・参加を促す 【概要】事業主や健康管理委員に当該集団の健康状況やコラボヘルス、健康経営の重要性を説明し、必要な健康対策への協力・参加を依頼	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	・事業所に当該集団の健康状況を健康管理委員へ説明。 ・必要な健康対策への協力・参加を促す。	・継続。	・次期データヘルス計画に向けて、職場環境の整備を進める題材の検討。	
加入者への意識づけ																
保健指導 宣伝	4	既存	加入者への意識づけ	【目的】加入者の健康意識の向上 【概要】機関誌や個人への個別の情報提供を行う	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・健康状況等を機関誌で掲載。	・web媒体を介し個人への個別の情報提供を検討。	・継続。	
個別の事業																
特定健康 診査事業	1	既存（法定）	特定健診（被保険者）	【目的】特定健診の実施率の向上 【概要】人間ドックの費用助成等をし、特定健診の受診を行う 事業所より法定健診結果の受領	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	1	・事業所より法定健診結果の受領。	・継続。	・継続。	被保険者実施率（100%）を目指す 平成25年度 実施率91% 対象者 3475人 実施者 3161人
	1	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	【目的】特定健診の実施率の向上 【概要】人間ドックの費用助成、受診券を配付して集団・個別の特定健診受診を行う パート先での受診者の結果受領	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	1	・パート先での受診者の結果受領。 ・受診意義の周知。	・継続。	・継続。	被扶養者実施率（60%）を目指す 平成25年度 実施率46% 対象者 1468人 実施者 674人
特定保健指導 事業	3	既存（法定）	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドローム該当者の減少 【概要】メタボリックシンドローム該当者、予備軍へ委託業者または集団契約機関の保健指導 委託業者への参加率の向上を目指すべく、事業所への協力・参加呼びかけの実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	60	基準対象者	1	・事業主へ協力を呼びかけ参加者の増加を求める。	・継続。	・継続。	積極的支援実施率（30%）を目指す 対象者750名（積極的500名、動機付け250名） 平成25年度実施率（動機づけ支援対象者266名、実施者4名、実施率1.5%） （積極的支援対象者468名、実施者42名、実施率9%） 実施者の健康改善（保健指導対象者外改善者割合30%を目指す）
	4	既存	機関誌発行	【目的】健康情報、健康意識の向上、法律改正等の周知 【概要】被保険者全員へ機関誌を配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続。	・継続。	・継続。	
	7	既存	医療費通知	【目的】医療費の不正請求等の抑制 【概要】医療費通知を組合員へ配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続。	・継続。	・継続。	
	7	既存	メンタルヘルス助成	【目的】メンタルヘルス患者の減少 【概要】事業所実施のメンタルヘルス事業への助成	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続。	・継続。	・継続。	事業所へのメンタルヘルス事業の重要性周知を強化 メンタルヘルス事業実施事業所の増加

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類		事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施 主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）			
					資格	対象 事業所	性別	年齢			対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
保 健 指 導 宣 伝	4	既存	社会保険小冊子・記念品の配付（新規加入者）	【目的】健康意識と社会保険の知識の向上 【概要】新規加入者へ小冊子と記念品を配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	1	・継続。	・継続。	・継続。		
	7	既存	健康者表彰	【目的】健康者を表彰 【概要】年間無受診世帯へ記念品を配付	被保険者	全て	男女	18	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。		
	7	既存	ジェネリック医薬品使用促進	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進で医療費削減 【概要】ジェネリックに変更することにより300円以上差額効果が見込める対象者へ通知配付	被保険者	全て	男女	0	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。	切替率40%以上（人数ベース）目標 H25年度 年2回 合計通知者2,117名 切替率34%	
	6	既存	前期高齢者医療費対策	【目的】前期高齢者の健康の保持増進と前期高齢者納付金対策 【概要】前期高齢者へ訪問健康相談	被保険者 被扶養者	全て	男女	63	～	74	基準対象者	1	訪問を断られた方への電話相談。	・継続。	・継続。	実施率80%を目指す （訪問60%、電話20%） H26年度対象者56人、実施者27人、実施率48%	未訪問群と比較し、訪問群の医療費削減を目指す
	3	新規	糖尿病重症化予防	【目的】糖尿病の重症化を予防（糖尿病コントロール率の向上） 【概要】HbA1c7.0以上または空腹時血糖130以上かつ尿蛋白2+以上で治療レセプトがある方への血糖コントロールに向けて食事、運動、服薬等の個別支援の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。	実施率50%を目指す H26年度対象者34名	実施者の改善率100% 実施者の血糖コントロール率40%を目指す
	3	新規	糖尿病受診勧奨	【目的】糖尿病に注目し、早期治療者の増加 【概要】HbA1c7.0以上または空腹時血糖130以上かつレセプトが無い方へ早期治療を促すための受診勧奨を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。	実施率70%を目指す H26年度対象者34名	実施後受診率50%を目指す
	3	新規	高血圧症重症化予防	【目的】高血圧症の重症化予防（高血圧症コントロール率の向上） 【概要】収縮期血圧180以上拡張期血圧110以上で治療レセプトがある方への血圧コントロールに向けて個別支援の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。	実施率50%を目指す H26年度対象者12名	実施者の改善率100% 実施者の血圧コントロール率60%を目指す
	3	新規	高血圧症受診勧奨	【目的】高血圧症に注目し、早期治療者の増加 【概要】収縮期血圧160以上拡張期血圧100以上で当該治療レセプトが無い方へ早期治療を促すための受診勧奨を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準対象者	1	・継続。	・継続。	・継続。	実施率70%を目指す H26年度対象者92名	実施後受診率50%を目指す 目指す
	3	新規	治療中断者受診勧奨	【目的】現在糖尿病、高血圧症、高脂血症の治療を中断している方の治療再開の促進 【概要】現在糖尿病、高血圧症、高脂血症の治療を中断している方の治療再開受診勧奨の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準対象者	1	実施内容の検討。	・継続。	・継続。	実施率100%を目指す H26年度対象者2名	実施後受診率50%を目指す す
疾 病 予 防	1	既存	35歳節目人間ドック	【目的】35歳節目人間ドック受診率を高める 【概要】35歳の節目に人間ドックの費用助成	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	35	全員	1	・継続。	・継続。	・継続。	H25年度実施者96名	

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類		事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施 主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）			
					資格	対象 事業所	性別	年齢			対象者	平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
体 育 奨 励	4	既 存	ウォーキング奨励	【目的】健康意識の向上、健康習慣の定着を目指す 【概要】紙上ウォーキングを中心とした3ヶ月間のポイント制を導入したプログラムの実施。 運動習慣や適切な食事習慣の推進	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	プログラム内容の検討。	・継続。	・継続。	参加促進。被保険者1割の600人の参加目標 H25年度記録提出者324名	健康習慣の定着600人

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他
注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業